

令和5年度事業報告

会員の皆様には、令和5年度の事業推進に当たり、新型コロナウイルスについては、2類から5類への取り扱い変更により、その影響と対応が緩和する中で状況に応じた行事開催に多大のご理解ご支援ご協力を賜わりありがとうございました。

はじめに

「新型コロナウイルスの対応」について

令和2年から世界的に猛威を振るった感染の脅威はようやく薄らいできたものの、感染防止対策については、全剣連と情報交流を密にし、以下慎重に対応した。

- ・ 暫定審判法の継続・試合進行法の工夫
- ・ 立ち合い時のマスクもしくはマウスシールドの着用
- ・ 密を回避し、換気、床の清掃、手指の消毒の徹底等

基本的な課題として、

(1) 「少子高齢化とコロナ禍での剣道離れ」について

新入生の減少等活動再開の本格的な手応えは今一つである。剣道界全般の流れとして、少子高齢化の影響とコロナ禍による剣道離れの危惧が大きく身近に感じられた年であった。

厚生労働省は令和6年2月27日、令和5年の出生数（速報値）が前年比5.1%減の75万8631人だったと発表した。8年連続で減少し、過去最少となった。これは、外国人を含む値で、日本人だけで見るとさらに少なくなる。総人口の減少幅は初めて80万人を超え、少子化が一層加速している。新生児出生数が第1次ベビーブーム時代（270万人）の1/3に減少し、総人口の減少の速度が速まっていることはご承知の通りである。当連盟の年齢別人口構成を比較すると、確実に1年ずつ年齢層が高くなっている。更に今年度も高校卒業直後の19歳が200名を割り、大学卒業直後の23歳も300名を大きく割る状態となり、コロナ禍での若年層の節目での剣道離れの実態が見えてきた。

当連盟の会員人口に比例すると考えられる昇段審査受審者数の推移を見てみると、それがよくわかる。年度により変動はあるが、公益法人化し正確な統計を取り始めた10年ほどは、年平均2%程度の減少傾向が続いていたが、特に、新型コロナウイルスの影響による初・二段クラスを受審者数の減少が著しく、令和4・5年度で若干回復傾向がみられたものの、10年前と比較すると32.8%（年平均3.3%）の減となった。コロナ禍での若年層の節目での剣道離れの実態が見えてきた。

新規に剣道を始める人を増やす課題はもとより、この人口を次へ引継ぎ、如何に生涯剣道につながるというのが、大きな課題である。

（定款第3条）「わが国の伝統と文化に培われた剣道（居合道、杖道を含む）を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する」ことを大命題とする当連盟としては、最重要課題として「少子高齢化」と「コロナ禍が常態化する中での剣道離れ」に危機感をもって真剣に取り組んで行かなくてはならない。

すそ野を広げる活動も重要であるが、一方この程度の少子高齢化は避けられないとすれば、これに見合った事業展開を検討する時期にも来ている。

(2) 「賛助会員制度」による支援活動について

スタート後9年目を迎えた賛助会員制度には253件、172万円のご協力をいただいた。残念ながら長引くコロナ禍で漸減傾向にあるものの、少年大会へのt o t oスポーツ振興基金からのご助成及びパナソニック社の冠大会化のご支援に目途が立ってきたことから、賛助会員制度の所期の目的に沿ったバランスの良い支援活動の継続展開を目指した。

支援活動の状況としては、

- A. 少年・・・パナソニック杯・第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会を開催した。
- B. 女性・・・2024 オールおおさか剣道WOMANフェスタ大会は中止。

- C. シニア・・・第6回大阪剣道マスターズ大会は参加者皆様の協力を得て無事開催した。
- D. 生涯剣道・・・人生100年時代を迎え、生涯剣道につながる健康な体・技・心作りを目指して、スポーツ安全講演会を企画し、ロコモ運動の展開を図った。
- E. 大阪版「剣道の心」・・・コロナ禍の影響を引きずる中で、剣道大好き仲間の絆をしっかりと支えるべく、大阪版「剣道の心」普及活動を中心に唱和をテーマにした面手拭い、キーホルダー、缶バッジの制作・配布による「コロナに負けるな キャンペーン」を推進した。
- F. 公益法人として会員の皆様の便宜を図るため、「税額控除制度」の適用申請を進め、許認可を完了したことはご承知の通りで、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」の選択が可能となり、より有利な税務上の優遇策を受けられることとなったことを周知徹底した。なお一層のご支援、ご協力を賜りたい。

(3) 「財政基盤の確立」について

当法人の財政は、「個人会費」と「審査料・登録料」を基盤としてきた。ご承知のように、公益法人を取り巻く事業環境はより一層厳しく、「個人会費」は少子化が進み、「審査」はコロナ禍で、新入の初・二段受審者が減少に歯止めがかかったものの、「コロナ前の水準には程遠く」、厳しいやりくりとなった。更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、財政基盤の安定確立化に取り組んだ。

基本方針として、公益法人化の原点に戻り、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営を目指した。1年毎の単年度思考を改め長期的な視点に立つ中期計画の展開に、ここ数年取り組んできた。長引くコロナ禍の常態化も勘案し、様々なコストプレッシャー要因を把握整理した上で、赤字事業・定款の目的に沿わない事業・成果の上まらない事業の見直し、一般管理費の削減等聖域のない徹底した緊縮財政に取り組んだ。各方面でご理解、ご協力をいただいております、これを継続し、安定した財政基盤の確立を推進した。

審査会については前述の通り、皆様方のご理解、ご協力の下、工夫展開し、予定の回数を開催することができたが、コロナ前までの回復は難しく、受審者数の減少が大きく影響した。

少年大会については、今回も好評に応じてLive配信を行ったことにより費用増になったが、パナソニック株式会社エレクトリックワークス社の冠化開催のご支援に加え、事務局を中心に徹底したコスト削減策を実施したことにより、当初懸念された大きな赤字は回避することが出来た。引き続きこの体制を持続徹底する。

(4) ガバナンス・コンプライアンスの取り組み

以上の基本的な課題に加え、特に昨今スポーツ界を騒がせている「体罰・暴力的指導への対応強化を図っていたところ、残念なことにまた「行き過ぎた熱血指導」問題が発生した。剣道家の常識が世間一般の非常識とならないよう、技術のみに偏らない「人間形成につながる」指導法の研鑽と指導者育成に向けてキャンペーンの展開を検討中である。

その他事業については、

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員への派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については、各委員会・事務局が中心になって年間行事予定に従い準備、推進した。
- (2) 中学校の部活動の地域移行に伴う対応については、部活動指導員の人材バンクへの人材供給等を継続して行った。教育行政の中で、働き方改革の一環として部活動の外部支援の機運も高まってきており、特に地域（社会体育）化への移行方針を先取りして大阪府・大阪市他の教育委員会担当部門との情報交換を密にするなど、今後も全面的に協力を行う方針である。
- (3) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の呼びかけに応え、中学校における武道必修化対応事業として「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を企画し、これま

でに計 130 名余りの派遣講師候補を養成した。また中学校の現場から高まる要請に応じ、授業協力外部講師の派遣を推進した。一般見学者にも開放する公開授業については、準備を進めていたが、コロナ禍で中止となった。

- (4) とかく閉鎖的であった剣道界であるが、少子高齢化問題をはじめとした共通課題について各地の剣道連盟との情報交換を進めた。同じ公益社団法人として組織運営面で共通の課題を持つ福岡県、埼玉県剣道連盟、そして地勢的に共通点の多い近畿 2 府 4 県、課題が共通する東京都・静岡県等との交流を深め、お互いの課題解決に向け意見交換を進めて行く。

以下、令和 5 年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I. 公益事業

1、個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行（平成 24 年 4 月～）して 12 年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、交剣知愛の輪を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただく事を期待する。

個人会員数は、高校生相当年齢 1,686 名、大学生相当年齢 704 名、一般 13,484 名であった。なお、中学生以下の登録者は 6,959 名で、その合計は 22,833 名であった。昨年度と比べると、一般の登録者は微増（昨年度比約+3.1%）、大学生相当年齢は微減（昨年度比約△1.8%）、高校生相当年齢は微減（昨年度比約△1.5%）、中学生以下の登録者数は微減（昨年度比約△2.9%）となった。個人会員数合計は、昨年度比約 0.7%の増加となった。

本年度の入会登録団体は 5 団体あり、退会登録団体は 4 団体で、本年度末の登録団体数は 560 団体となった。

2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第 4 条第 2 号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図るため、講習会を開催した。

剣道においては、近年マンネリ化していた講習会の参加者を増やし、指導者の一層のレベルアップを図るために、府下 9 地区を北・中・南の 3 ブロックに大きく括り、八段講師を毎回約 5 人投入し、審判法・日本剣道形と指導法を有機的につなぐ講習会を継続しているが、今年度は北ブロックと南ブロックで 1 回ずつ実施し、受講者は延べ 172 名であった。

指導講師間での趣旨徹底、伝達事項の共有、意思統一のため、6 月 4 日全剣連伝達講習を兼ねて八段講師研修会・審査員審判員研修会を企画・実施したところ、八段研修会 29 名、審査員審判員研修会 29 名が受講した。

これまで実施してきた講習会については、審判法 3 回、日本剣道形 2 回、指導法 2 回、女子講習会 1 回・女子稽古会 1 回、合計で 9 回開催した。

従前の地域・職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進したところ、11 回の実施となり、受講者延べ 641 名であった。

これら上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年 2 回の受講を義務づけており、個人登録システムにより資格認定の必須条件として厳密に管理している。が、コロナの影響も残っており、弾力的な運用を行わざるを得ない。

全剣連の主導により中学校における武道必修化授業に対応した 9 回目の「授業協力者養成講習

会」を学校現場で指導している者に限定して企画・開催したところ、13名が受講した。

居合道では、夏季講習会・春季講習会・伝達講習会・審判講習会1回・特錬会3回・高段者特別錬成会1回・古流研修会1回の実施となった。恒例となった、特別講習会を全剣連居合道委員長 草間純市範士を招聘して、技術・指導技術の向上をテーマに4月1・2日に実施したところ、延194名が受講した。

杖道では、3回の主要講習会（春季講習会2回・秋季講習会）に加えて11回の月例研修会の実施となった(使用予定施設が新型コロナウイルスワクチン接種会場になったことにより、数回の講習会が中止となった)。

三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を2月3日（土）エル・おおさかに於いて、講師に菅本一臣先生（大阪大学大学院工学研究科招聘教授）を招聘して「体技心～生涯武道を求めて人間の体を知る～」をテーマにして、開催したところ、約50名が受講した。

暑中稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち、例年通りの実施を予定したが体育施設の利用が思うようにできず、大阪市立修道館で規模を縮小して実施した。また、寒稽古の開催についても大阪市立修道館で規模を縮小して実施した。

喫緊の課題である少子高齢化に対応する試みとして、以下の3つの企画展開を行った。

(1) 「少年剣道塾」について

剣道大好きな小中学生剣士を対象に、トップレベルの講師のもと、剣士同士の交流を深め、生涯剣道につながる正しい剣道の素晴らしさを体験してもらう場を企画した。今年は4回（5月7日(平野スポーツセンター)・7月30日(平野スポーツセンター)・11月5日(西スポーツセンター)・R6年2月23日(平野スポーツセンター))開催した。

(2) 「ビギナーズパートナー (BP)」指導者養成講習会について

幼少年の子どもたちに遊びや運動を通じて健康な身体づくりを行いながら、日本の伝統文化である剣道に関わってもらおうという取り組みを企画した。子供たちの保護者やお兄さんお姉さん方を中心に、「この機会に講習会に参加いただき『BP』の資格を取得して、私たちと一緒に剣道を通して子供たちの成長に関わりませんか！」という呼びかけを行った。これまで2回の講習会を開催し、52名のビギナーズパートナー (BP:大阪府剣道連盟認定) 資格受有者が誕生した。幼少年専門の指導員によるアプローチを行うことで、剣道好きな子どもを増やし、将来的には日本の剣道界の発展にもつながると期待している。

(3) 「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会の冠化」について

少子高齢化の流れが迫る中、日本古来の伝統文化である剣道を通じて「将来を担う少年」に夢と希望を与え、剣の理法の修錬によって人間形成につなぐ事業展開を目指す公益法人の主旨に協賛依頼を行ったところ、パナソニック株式会社エレクトリックワークス社の賛同を得、「パナソニック杯」の名のもとに新たな展開を図ることとなった。

勝利至上主義でなく、交剣知愛をモットーに生涯剣道の基礎となる少年剣道の発展に向けさらに充実した大会を目指して、高校野球の甲子園、高校ラグビーの花園、そして少年剣道の舞洲とうたわれ、純心な少年剣士たちの「心いつまでも残る大会」になるよう頑張っていくたい。

3、各種大会開催事業（同条第3号）

本連盟主催分・・・ 6月11日（日）第60回大阪杖道大会
6月18日（日）第56回大阪府少年剣道大会
7月16日（日）第70回大阪府剣道優勝大会
9月17日（日）パナソニック杯
第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
10月1日（日）第6回大阪剣道マスターズ大会
10月14日（土）第20回大阪府女子剣道優勝大会

本連盟後援分・・・10月 1日(日) 第46回関西杖道優勝大会
 11月18日(土) 第53回居合道段別大会
 12月23日(土) 第65回大阪居合道大会
 本連盟主管分・・・4月29日(祝) 第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 5月27日(土) 大阪市長杯第67回市民剣道大会

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣(同条第4号)

次のとおり派遣した。

<剣道>

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|---------|--|
| 4月 1日(土)～4月 2日(日) | 第58回剣道西日本中央講習会 | 神戸市 | 吉村 |
| 4月16日(日) | 第21回全日本選抜剣道八段優勝大会 | 名古屋市 | 吉田、江藤、石田、愛甲 |
| 4月29日(祝) | 第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 | 大阪市 | 石塚、林、山崎、吉田、草野、野中、平田、三浦 |
| 5月 3日(祝)～5日(祝) | 第119回全日本剣道演武大会 | 京都市 | 参加者：322名 |
| 6月 9日(金)～11日(日) | 第61回剣道中堅剣士講習会 | 奈良市 | 今泉 |
| 7月 9日(日) | 第15回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 | 東京都千代田区 | 平瀬、寺本、北井、辻、有本、近藤、川内、石田 |
| 8月20日(日) | 特別国体 近畿ブロック大会 | 兵庫県赤穂市 | 少年男・女、成年女子 13名 総監督：愛甲 成年女子：藤崎、石塚、近藤 少年監督：吉田、本多 少年男子：上田、大宮、今井、石塚、河合 少年女子：近都、森、平瀬、榊原、間宮 |
| 9月 3日(日) | 第62回全日本女子剣道選手権大会 | 奈良県橿原市 | 岡崎、藤崎、横山 |
| 9月17日(日) | パナソニック杯 第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 | 大阪市 | 参加：小学生の部2チーム、中学生の部2チーム 計4チーム 小学生Aチーム：寺本、後藤、桂木、湯浅、木下、勝見、友井 小学生Bチーム：岡垣、石原、大前、北東、村上、廣永、藤田 中学生Aチーム：平井、伊藤、矢野、北東、松村、谷口、西躰、吉川 中学生Bチーム：塩川、福田、西田、奥野、大前、坂口、八角、榎本 |

- 9月24日(日) 第69回全日本東西対抗剣道大会 沖縄県那覇市
石塚、土谷、萩原、平田、愛甲
- 10月 8日(日)～10月10日(火) 特別国民体育大会 鹿児島県霧島市
成年男子・女子、少年男子 計3チーム
総監督：平田
成年男子：清家、土谷、大城戸、徳岡、愛甲
成年女子：藤崎、石塚、近藤
少年監督：吉田
少年男子：上田、大宮、今井、石塚、河合
- 10月28日(土)～29日(日) 剣道講師要員「試合・審判」近畿ブロック研修会
和歌山市
平野・平田・中尾・佐野・鈴木・首藤・藤武・川内・近藤
- 10月28日(土)～30日(月) 第35回全国健康福祉祭 愛媛県松山市
大阪府チーム：池野、三宅、橋本、石倉、西本、松室
大阪市チーム：中村、遠藤、光田、植西、山本、藤井
堺市チーム：松浪、畑山、河内、金内、飯山
- 11月 3日(祝) 第71回全日本剣道選手権大会 東京都
小角、阪口、大城戸
- 12月 9日(土)～10日(日) 令和5年度「骨太」近畿ブロック講習会 和歌山市
受講生(男子)：鶴浜・富田・杉田・山崎・清家
受講生(女子)：横山・藤武・江島谷
- 令和6年1月27日(土)～28日(日) 幼少年剣道の活性化を目指す女子近畿ブロック講習会
神戸市
石田・清水・三上・玉田・安居院・高本・植田・
近藤・北野・酒匂・足立・紀田・畠山・川内

<居合道>

- 5月 2日(火) 第119回全日本剣道演武大会 京都市 参加：46名
- 7月 1日(土)～2日(日) 全剣連中央・地区講習会 高知県高知市
参加：44名
- 10月21日(土) 第58回全日本居合道大会 東京都足立区
本郷、白井、土屋、大場、中島

<杖道>

- 5月 2日(火) 第119回全日本剣道演武大会 京都市 参加：18名
- 8月19日(土)～20日(日) 全剣連中央・地区講習会 兵庫県姫路市
参加：45名

| | | |
|-----------|-------------|---------|
| 10月15日(日) | 第50回全日本杖道大会 | 神奈川県横浜市 |
| 初段：0名 | 二段：0名 | 三段：4名 |
| 四段：2名 | 五段：4名 | 六段：0名 |
| 七段：2名 | 個人演武：4名 | 参加：16名 |

令和6年3月 9日(土)～10日(日) 全剣連中央・地区講習会 東京都江戸川区
参加：12名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与(同条第5号)

新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに沿って実施した。全ての審査について、通常どおり、剣道5回、居合道2回、杖道2回を実施した。剣道の受審者数は4,329名で、前年度より11.8%の増加、居合道および杖道は予定通り2回実施したところ、受審者数については、居合道は変動なし、杖道はやや増加した。

全剣連高齢者審査会の前年度比受審者数は、剣道は大幅な増加、居合道と杖道は大きな変動は見られなかった。

全ての段位審査について、新型コロナウイルスの影響を受ける前の水準には遠く及ばない状況であった。

6、功労者の表彰(同条第6号)

①令和5年度 全剣連 有功賞 宮本 實

②令和5年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞
豊能地区 箕面栗生剣友会
泉州地区 常盤剣道クラブ

③令和5年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞

| | |
|-----|---------|
| 金賞 | 楠本 正一 |
| 銀賞 | 奥村 篤生 |
| 〃 | 馬場 威夫 |
| 〃 | 福西 正明 |
| 団体賞 | 聖和剣道友の会 |

④第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝 大阪府
(石塚、林、山崎、吉田、草野、野中、平田、三浦)

⑤八段昇段 剣道 佐野 隆紀
〃 今泉 龍朗
〃 寺本 将司
〃 佐藤 博光
⑥範士受称 剣道 山本 雅彦

7、その他当連盟の目的達成のために必要な事業(同条第7号)

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員(地区担当理事)を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区(合同講習会含む)・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣

道の普及と活力ある指導者の育成を目指して例年活発な活動が行なわれている。今年度は、18回開催することができた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された26回の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、52回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページ・ツイッター・メールマガジン・おおさか剣道かわら版の活用について検討を続け、それを促進してきたところ、新型コロナウイルス禍において、その活用が極めて大きな役割を果たすことが実証された。重点事項としてより大きく推進していくこととする。

ツイッター・メールマガジン・おおさか剣道かわら版・行事の写真・動画の配信を引き続き推進する。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を積極的に提供していく。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、当連盟主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険の加入状況など

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入を促している。加入申し込みがウェブ化したことにより、全体の把握・実態の把握が難しくなっている。把握できている加入数は37団体1,463名で、加入団体数に変動なし、加入人数においては64.5%の減少となった。加入について報告をいただけるようお願いする。なお一層の加入団体と加入者数の増加に努めたい。

スポーツ安全協会から得た情報によれば、昨今、怪我・事故など発生した場合に指導者の管理不足・配慮不足などが問題となり損害賠償の対象になる事例も増加しており、このようなケースにも対応できるスポーツ安全保険の加入を更に促進させたい。

傷害発生の傾向

事故・傷害の保険適用件数は22件で、昨年度に比べ18件減少し、非常に少ない件数となった。が、事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。中でも、少年剣士の足部の骨折が多く報告されている。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

③若手剣士を対象にした強化錬成会

全剣連要請による骨太強化のブロック移管を良い機会ととらえ、高校生～30歳までの若手剣士を対象に強化錬成会を企画した。大阪府における正しい剣道の継承・発展に資するた

め、選手・指導者共通の剣の理法を紐解きながら指導・育成・強化を推進する。併せて地域・職域の底上げ、活性化を期待したが、9月9日：「0名」・12月9日：「申込者1名により中止」・3月16日：「0名」という結果になった。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計394冊を販売した。

2、広告等募集事業

例年、大会プログラムの広告掲載を各方面より募集しており、35件、総計406,000円となった。

III. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を3回、理事会を4回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務、IT・広報、財務、補助金審査、未来構想、学校、普及、少年、女子、講習会、審判、強化、審査、審判員選考、事業、居合道、杖道、審査員選考の18専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

上記会議の一部を、Zoomを活用して開催した。

令和5年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

| | 講習会名称 | 実施回数 | 指導者数 | 参加者数 |
|------------------|-----------|------|------|------|
| 連 盟 主 催 | 審判講習会 | 3回 | 15名 | 164名 |
| | 日本剣道形講習会 | 2回 | 9名 | 145名 |
| | 指導法講習会 | 2回 | 10名 | 95名 |
| | 女子稽古会・講習会 | 2回 | 5名 | 125名 |
| | 計 | 9回 | 39名 | 529名 |

(2) 各種大会の開催

5月27日(土) 大阪市長杯第67回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)

優勝：男子の部…NTT西日本大阪A

優勝：女子の部…NTT西日本大阪

参加：47チーム

243名

6月18日(日) 第56回大阪府少年剣道大会(小学生個人) 於おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)

低学年(参加：182名)

優勝 Aブロック：石黒 愛奈 Bブロック：渡邊 善 Cブロック：北東 大輝

高学年(参加：231名)

優勝 Aブロック：寺本 知頼 Bブロック：後藤 颯真 Cブロック：川端 大智

7月16日(日) 第70回大阪府剣道優勝大会 於Asueアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)
参加：168チーム、1,034名

優勝 男子一般：大阪剣道協会術科指導室

優勝 女子一般：パナソニック(株)エレクトリックワークス社門真

優勝 高校男子：四天王寺東高等学校

9月17日(日) パナソニック杯 第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 (大阪市・大剣連主催)
於おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)
小学生チーム48チーム、中学生チーム48チーム 計96チーム

10月 1日(日) 第6回大阪剣道マスターズ大会 於大阪市立修道館
参加：延119名(剣道：94名、居合道：10名、杖道：15名)

10月14日(土) 第20回大阪府女子剣道優勝大会 於Asueアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)
個人戦の部 優勝 一部：西尾 二部：牛之浜 三部：畠山

団体戦の部 優勝 四部：岡部 五部：渡部 参加：128名
一部：大阪拘置所
二部：心技館C

参加：42チーム、135名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行い開催促進した。

(3) 各種予選会の開催

4月23日(日) 第35回全国健康福祉祭剣道交流大会選手選考会 於大阪市立修道館
参加：34名

代表：(大阪府チーム) 池野、三宅、橋本、石倉、西本、松室
(大阪市チーム) 中村、遠藤、光田、植西、山本、藤井
(堺市チーム) 松浪、畑山、金内、飯山、河内

5月13(土) 第15回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：51名
代表：平瀬、寺本、北井、辻、有本、近藤、川内

5月20日(土) 特別国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：118名
代表：(男子) 清家、土谷、大城戸、徳岡、愛甲
(女子) 藤崎、石塚、川内

6月24日(土) 第62回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：33名
代表：岡崎、藤崎、横山

9月2日(土) 第71回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：64名
代表：小角、阪口、大城戸

令和6年2月24日(土) 第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於Asueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
参加：151名
代表：石塚、長、池内、松本、土谷、勝見、中尾

(4) 審査会

7月23日(日) Asueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)…(初段～五段)
10月9日(祝) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)…(初段～五段)
11月26日(日) 高槻市総合体育館…(初段～三段)
令和6年1月13日(土) 岸和田市総合体育館…(初段～三段)
3月24日(日) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)…(初段～五段)

| | 初 段 | 二 段 | 三 段 | 四 段 | 五 段 | 合 計 | 前 年 比 |
|--------|-------|-------|-----|-----|-----|-------|--------------|
| 受審者数 | 2,078 | 1,208 | 457 | 286 | 300 | 4,329 | + 458 +11.8% |
| (うち女性) | 753 | 481 | 187 | 103 | 114 | 1,638 | + 352 +27.4% |
| 合格者数 | 1,553 | 688 | 225 | 100 | 121 | 2,687 | + 555 +26.0% |
| (うち女性) | 509 | 246 | 55 | 27 | 21 | 858 | + 141 +19.7% |

参考 (称号および六段以上)

| | 六段 | 七段 | 八段 | 錬士 | 教士 | 範士 | 合計 | 前年比 |
|------|-----|-----|-----|----|----|----|-------|-------------|
| 受審者数 | 359 | 414 | 324 | 70 | 51 | — | 1,218 | +157 +14.8% |
| 合格者数 | 95 | 81 | 4 | 70 | 51 | 1 | 302 | +57 +23.3% |

(※合格者数には、再受審者を含む)

(※ 取消線——は諸事情により中止したもの)

(5) その他の事業

7月16日(日) 第70回大阪府剣道優勝大会 於 Asue アリーナ大阪
(大阪市中央体育館)

演武 日本剣道形 三浦 — 平田
 宝蔵院流 槍術 前田 — 小寺
 小野派一刀流 組太刀 粕井 — 加藤
 なぎなた 宮畑 — 金岡

8月 3日(木) ~ 5日(土) 暑中稽古 於大阪市立修道館
 参加：延べ466名

~~令和6年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於 Asue アリーナ大阪
 (大阪市中央体育館)
 参加：——名~~

令和5年度剣道塾

- 第1回 5月7日(日) 平野スポーツセンター於 協力：杖道部・大阪教育大学
 小学生108名、中学生55名 合計163名
- 第2回 7月30日(日) 平野スポーツセンター於 協力：杖道部・大阪教育大学
 小学生155名、中学生45名 合計200名
- 第3回 11月5日(日) 西スポーツセンター於 協力：パナソニック EW 社剣道部
 小学生189名、中学生91名 合計280名
- 第4回 R6.2月23日(祝) 平野スポーツセンター於 協力：パナソニック EW 社剣道部
 小学生295名、中学生83名 合計378名

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

| | | |
|--|---------|----------|
| 5月13日(土) 第1回特別強化練習会 | 於東淀川体育館 | 参加： 88名 |
| 6月10日(土) 審判講習会 | 於千島体育館 | 参加： 66名 |
| 7月30日(日) 夏季居合道講習会 | 於千島体育館 | 参加：190名 |
| 9月 3日(日) 第2回特別強化練習会 | 於東淀川体育館 | 参加： 72名 |
| 9月10日(日) 全剣連伝達講習会 | 於修道館 | 参加：120名 |
| 令和6年1月21日(日) 新年合同稽古会 | 於修道館 | 参加：129名 |
| 2月 3日(土) 第3回特別強化練習会 | 於東淀川体育館 | 参加： 80名 |
| 2月11日(祝) 古流研修会 | 於修道館 | 参加： 91名 |
| 2月17日(土) 春季講習会 | 於東淀川体育館 | 参加：159名 |
| 令和5年4月 1日(土)～ 2日(日) 特別講師講習会 全剣連居合道部委員長：草間 純市 範士 | 於修道館 | 参加：延194名 |

(2) 各種大会の開催

9月24日(日) 第1回大阪府団体対抗居合道優勝大会 於大阪市立修道館
参加：11チーム、132名

<団体戦>

優勝：春風会 2位：八重垣会
3位：近畿大学

<個人演武>

段外 優秀演武賞：梅澤
初段 優秀演武賞：村上、田中、中道
二段 優秀演武賞：牛場、小野寺、久保、佐藤
三段 優秀演武賞：川原、小寺、山下、金子
四段 優秀演武賞：依田
五段 優秀演武賞：岡、木村
六段 優秀演武賞：出橋、岡島
七段 優秀演武賞：白井、木村、吉田、三木、黒木、綿谷、垣樋、佐々井
〃 最優秀演武賞：柴田

11月18日(土) 第53回居合道段別大会 於修道館 参加：133名
(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)
段外：矢田(春風会)、佐々木(一貫会)
初段：米川(無外流振興会) 二段：大西(近畿大学) 三段：山下(春風会)
四段：依田(春風会) 五段：土屋(茨木剣協) 六段：大場(秀心会)
七段：最優秀賞…中島(水月会) 同志会会長賞…綿谷(春風会)

12月23日(土) 第65回大阪居合道大会 於エディオンアリーナ大阪
(大阪府立体育会館)
参加：1031名
(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)

七段…福田一男杯受賞者：松崎(香川)

…大阪居合道同志会長杯：原田(神奈川)

…特錬会杯：中島(大阪)

段外：山本(京都大学)

初段：儘田(同志社大学)

二段：白井(同志社大学)

三段：青柳(東京)

四段：福永(東京)

五段：宗村(静岡)

六段：荒木(福岡)

(3) 各種予選会の開催

7月30日(日) 第58回全日本居合道大会大阪府選手最終選考会

於千島体育館

監督：本郷、白井

選手：土屋、大場、中島

参加：9名

(4) 審査会

8月20日(日) 於大阪市立修道館

令和6年3月10日(日) 於大阪市立修道館

| | 初段 | 二段 | 三段 | 四段 | 五段 | 合計 | 前年比 |
|------|----|----|----|----|----|-----|-------|
| 受審者数 | 25 | 29 | 21 | 26 | 11 | 112 | △ 1名 |
| 合格者数 | 25 | 27 | 18 | 20 | 9 | 99 | + 10名 |

参考 (称号および六段以上)

| | 六段 | 七段 | 八段 | 錬士 | 教士 | 範士 | 合計 | 前年比 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 受審者数 | 27 | 14 | 12 | 5 | 2 | — | 60 | + 1名 |
| 合格者数 | 5 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 | 11 | △ 2名 |

(※合格者数には、再受審者を含む)

(※ 取消線——は諸事情により中止したもの)

(5) その他の事業

7月16日(日) 第70回大阪府剣道優勝大会

於 Asue アリーナ大阪

(大阪市中央体育館)

演武 無外流 脇差之形

柴田 - 雪谷

無外流 大太刀之形

木村 - 黒木

10月14日(土) 第20回大阪府女子剣道優勝大会 於 Asue アリーナ大阪

(大阪市中央体育館)

演武 無双直伝英信流 詰合之位 川口 - 三木

~~令和6年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於 Asue アリーナ大阪~~

~~(大阪市中央体育館)~~

~~参加：—名~~

Ⅲ 杖 道

(※ 取消線——は諸事情により中止したもの)

(1) 講習会の開催および指導者の育成

| | | |
|----------------------------|----------------------|------------------|
| 4月 2日(日) 春季講習会 | 於東淀川体育館 | 参加：80名 |
| 4月16日(日) 特別研修会 | 於修道館 | 参加：35名 |
| 5月14日(日) 月例研修会・審判講習会 | 於修道館 | 参加：45名 |
| 6月18日(日) 月例研修会(高段者) | 於川西市総合体育館 | 参加：35名 |
| 7月 9日(日) 月例研修会(高段者) | 於川西市総合体育館 | 参加：52名 |
| 8月 6日(日) 一般研修会・強化錬成会 | 於川西市総合体育館 | 参加：36名 |
| 9月 3日(日) 伝達講習会 | 於千島体育館 | 参加：45名 |
| 10月 8日(日) 月例研修会 | 於川西市総合体育館 | 参加：—名 |
| 10月29日(日) 秋季講習会 | 於千島体育館 | 参加：97名 |
| 11月 5日(日) 月例研修会 | 於東淀川体育館 | 参加：—名 |
| 11月19日(日) 特別研修会 | 於修道館 | 参加：45名 |
| 12月 9日(土) 稽古納め・月例研修会 | 於修道館 | 参加：30名 |
| 令和6年1月14日(日) 稽古始め・月例研修会 | 於修道館 | 参加：72名 |
| 2月18日(日) 月例研修会 | 於修道館 | 参加：45名 |
| 3月16日(土) 月例研修会 | 於東淀川体育館 | 参加：40名 |
| 3月31日(日) 春季講習会 | 於修道館 | 参加：87名 |

(2) 各種大会の開催

6月11日(日) 第60回大阪杖道大会兼第50回全日本杖道大会大阪府予選会

於修道館

参加：140名

(優勝者のみを記載)

小学生：谷口(兵庫尚道館)

初段以下：松本(福岡明德館)

二段：亀蔦(愛知県)

三段：サヅノフ(守口)

四段：田伏(守口)

五段：篠原(玄部館)

六段：上村(奈良杖道会)

11月 5日(日) 第46回関西杖道優勝大会 於東淀川体育館

参加：120名

<団体戦> 優勝：垂水睦会 A 準優勝：小野睦会 A

<個人演武優秀賞> 初段以下：岸本 恵(八尾)、相良直美(住吉)

辻 伸三郎(玄武館)

三段：徳田豊美(養峻館)

五段：小西 薫(泉北はつが野)

<個人演武敢闘賞> 小学生：荻野聡一郎(垂水睦会)、荻野友紀菜(垂水睦会)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月11日(日) 第60回大阪杖道大会兼第50回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月16日(日) 於大阪市立修道館

11月19日(日) 於大阪市立修道館

| | 初段 | 二段 | 三段 | 四段 | 五段 | 合計 | 前年比 |
|------|----|----|----|----|----|----|-------|
| 受審者数 | 17 | 6 | 8 | 13 | 7 | 51 | + 15名 |
| 合格者数 | 17 | 5 | 5 | 8 | 1 | 36 | + 6名 |

参考 (称号および六段以上)

| | 六段 | 七段 | 八段 | 錬士 | 教士 | 範士 | 合計 | 前年比 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 受審者数 | 5 | 7 | 4 | 0 | 0 | — | 16 | + 1名 |
| 合格者数 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | — | 6 | ± 0名 |

(※合格者数には、再受審者を含む)

(※ 取消線——は諸事情により中止したもの)

(5) その他の事業

7月16日(日) 第70回大阪府剣道優勝大会

於 Asue アリーナ大阪
(大阪市中央体育館)

演武 全日本剣道連盟杖道形
神道流 剣術
内田流 短杖術
一心流 鎖鎌術

渡邊 — 老松
服部 — 古谷
中野 — 奥本
鹿島 — 坂上

10月14日(土) 第20回大阪府女子剣道優勝大会

於 Asue アリーナ大阪
(大阪市中央体育館)

演武 全日本剣道連盟杖道形

藤田 — 小西

11月26日(日) 第10回広島杖道大会

於広島県立総合体育館

参加：個人戦12名、団体戦1チーム4名

団体戦 準優勝；守口杖道教室

個人戦 三位：(五段の部) 森本真由、小西 薫

~~令和6年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武~~

~~於 Asue アリーナ大阪
(大阪市中央体育館)~~

~~参加：—名~~

~~3月—日(—) 第8回杖道体験講習会~~

~~於..... 参加：—名~~

普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。新型コロナウイルスの影響は沈静化したとはいえ、予定していた体育館がワクチン接種会場に使用され関西杖道大会の日程を急遽変更したが多くの参加者を集め無事開催することができた。多くの杖道愛好家のためにも研修会・講習会・大会開催を進めていきたい。

令和5年度事業報告 附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般法施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月

公益社団法人 大阪府剣道連盟